

JAと農業

J A g r i

献穀 事業



献穀者
鈴木 真理子さん

献穀者
鈴木 史浩さん

皇室へ米を献上する、平成最後の献穀事業。

「新嘗祭」は、天皇陛下が新穀を天神地祇に供えて収穫を祝い、翌年の豊穰を祈願する伝統的な宮中祭祀です。古くから行われ、もとは陰暦11月第二の卯の日。1873年(明治6)年から11月23日と定められ、現在は「勤労感謝の日」とされています。富士市での献穀事業は、平成16年度に行われ、今回で2回目となりました。

※天神地祇: 天と地の全ての神のこと。 ※宮中祭祀: 天皇が執り行う祭典。宮中三殿で行われる。

